

2014年10月22日  
三菱UFJニコス株式会社

**三菱UFJニコス、人気アニメ「けいおん！」デザインの  
「VIASOカード(けいおん！デザイン)」発行へ！**

～“5周年記念描き下ろし”デザインを含む、2種類の券面から選択可能、10月23日会員募集開始！～

三菱UFJニコスはこの度、人気アニメ「けいおん！」のヒロイン等を券面デザインにしたクレジットカード「VIASOカード(けいおん！デザイン)」の発行を決め、10月23日に会員募集を開始します。

「けいおん！」は、廃部寸前の軽音楽部に入部した女の子たちがガールズバンドを組み、音楽を通じて友情を育んでいくストーリー。平成19年に4コマ漫画(原作者:かきふらい)で誕生、同21年にはテレビ放送(アニメ化)、同23年に映画化され、興行収入19億円・動員数145万人を上まわるなど、熱い支持を得ています。

新カードは、ヒロイン5人が仲良く寄り添う“TV放送開始5周年記念描き下ろし”イラストの「キャラクターデザイン」と、各メンバーの楽器をかたどり、それぞれのイメージカラー(ピンク・青・赤・緑・黄色)で配した「楽器デザイン」の2種類から選択でき、変更も可能(再発行手数料:1,000円/税別)。また、新規入会特典として、“5周年記念描き下ろし”イラストのポストカードをもれなくプレゼントするものです(新カードの会員となった方が対象)。

なお、「VIASOカード」は、専用のネット通販ポータルサイト(約430店が出店)での支払いで、ポイント還元が最大で10%上乘せになり、また、所定の携帯電話やPHSの通信・通話料金、プロバイダー料金等の支払いでポイントが2倍になる独自のポイント制度が特長(詳細は別添参照)。なお、貯まったポイントでキャッシュバックが受けられ、年会費無料というお得感もあり、ネットユーザーから定評があります。

当社は今年1月に「浦和レッズ VIASOカード」と「マイメロディ VIASOカード」、5月に「VIASOカード(くまモンデザイン)」、また9月には「VIASOカード(ふなっしーデザイン)」の会員募集を開始しており、今回の新カードもこのラインアップ追加となるもの。今後も成長著しいネット決済市場を見据え、「VIASOカード」会員を拡充し、様々なネットユーザーの期待に応えていきたいと考えているものです。当社では本カードの会員獲得目標を初年度5,000名としています。

以上

◎ 入会申し込みURL : <http://cr.mufg.jp/k-on/01> (入会はWEB限定)

## <参考資料>

### ■新カードの券面



(C)かきふらい・芳文社／桜高軽音部

### ■VIASOカードの概要

名称の語源は、遊び(ASOVI)の文字列を並び替えたもの。

#### <商品概要>

1. カードブランド: NICOS Visa/MasterCard® ※VIASOカード(けいおん! デザイン)はMasterCard®のみ。
2. 年会費: 無料 (家族会員も無料)
3. VIASOポイントプログラムの特長:
  - (1)貯まったポイントは手続き不要のオートキャッシュバック  
カードショッピング利用1,000円毎に5ポイント(P)付与。貯まったポイントは1P=1円換算で年に1回、カード引き落とし口座へ振込み ※累計1,000ポイント以上が条件
  - (2)「VIASO eショップ」経由でネットショッピングすると、ポイント還元が最大10%上乘せ  
「VIASO eショップ」は、約430店が出店する、同カード専用のネット通販ポータルサイト。同サイト経由の購入で、通常獲得分(0.5%)に加えて、ショップ毎に設定されたボーナスポイント0.5~10%が付与されます。
  - (3)特定加盟店での利用分はポイント2倍
    - ①ETCカードの支払い分
    - ②携帯、PHSの通信・通話料金など(NTTドコモ、au、ソフトバンク、ワイモバイル)
    - ③プロバイダー料金(Yahoo! BB、@nifty、OCN、au one net、BIGLOBE、ODN)
4. カード付帯保険: 海外旅行傷害保険 最高2,000万円(利用付帯)

### ■TVアニメ「けいおん!」とは

「かきふらい」原作による4コマ漫画作品を元にアニメや映画化された作品。廃部寸前の軽音楽部に入部した女の子たちがガールズバンドを組み、音楽を通じて友情を育んでいくストーリー。本格的なバンド活動の描写よりも、のんびりした日常を描写することに力点が置かれている。

✓原作漫画は、平成19年から「まんがタイムきらら」(芳文社)にて連載開始。

✓アニメは、平成21年4~6月にTBSと同系列8局にて放送。同22年4~10月に「けいおん!!」(第2期)がTBS系全局で放送され、同23年12月には映画化。(劇場版、興行収入19億円、動員数145万人)

以上